

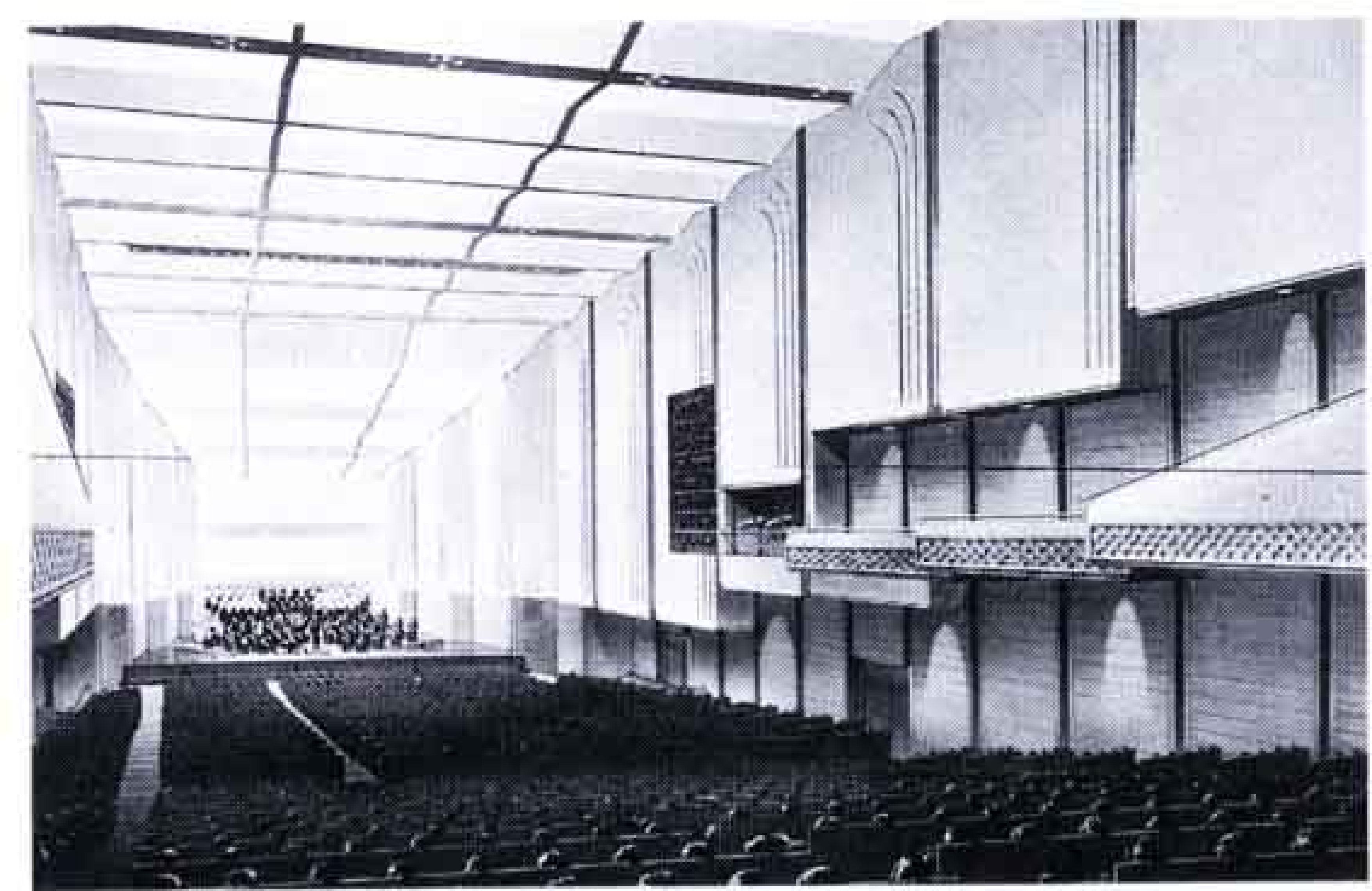
# 財団法人 「富士市文化振興財団」

富士市文化会館(仮称)を運営管理する

個性豊かな「ふじの文化」の  
創造と発信を目指して

が活動を開始

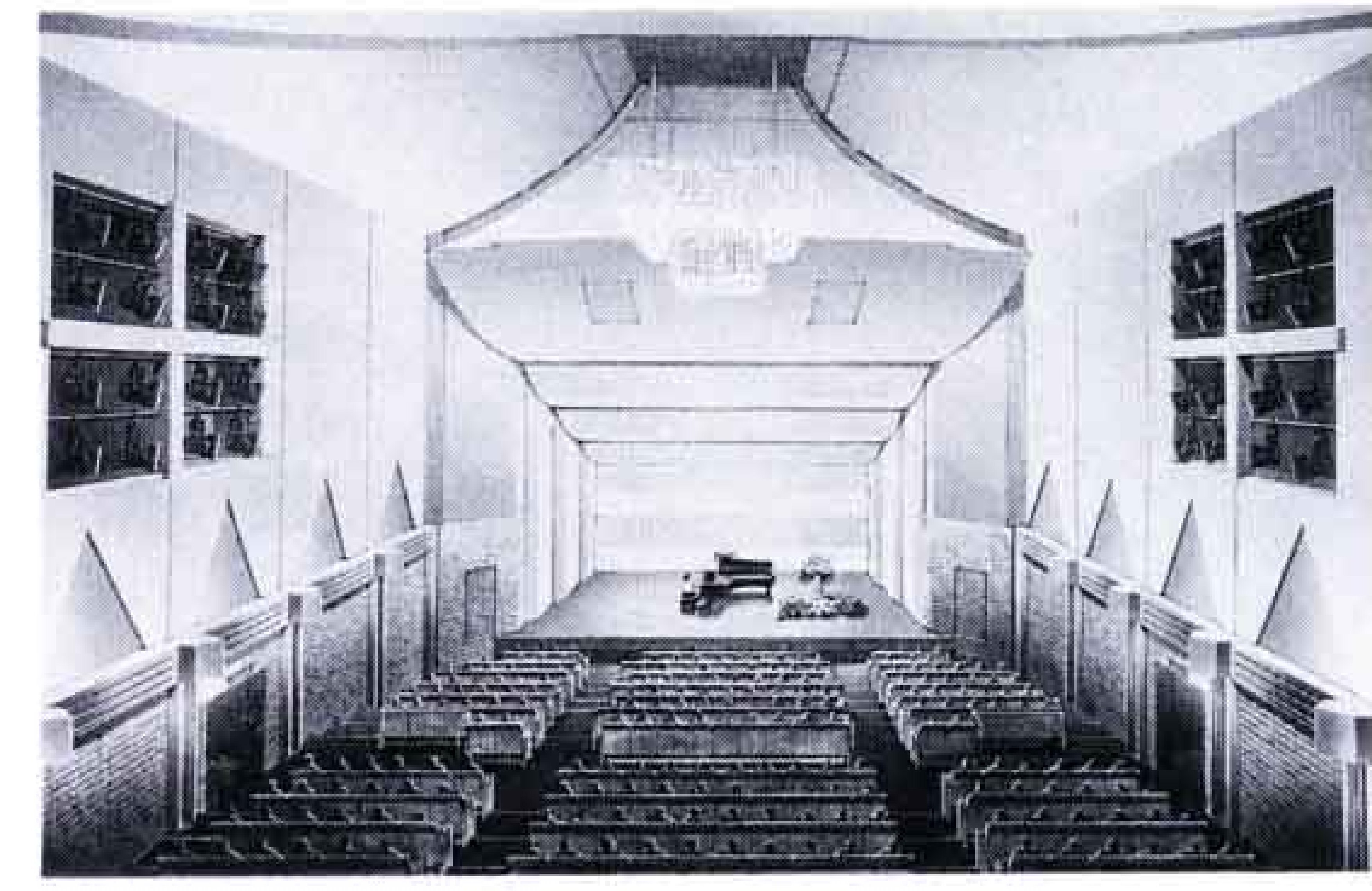
しました



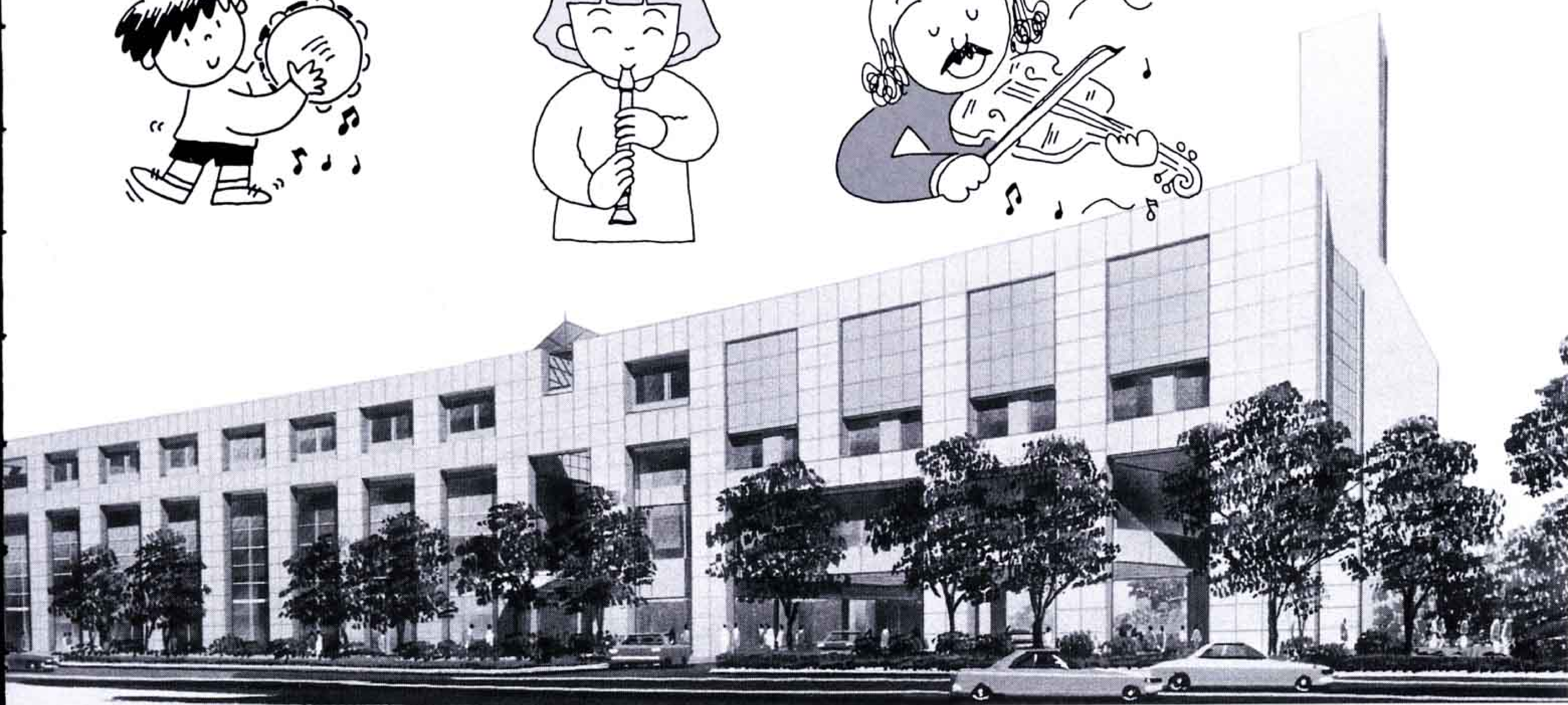
△大ホール 1,636席



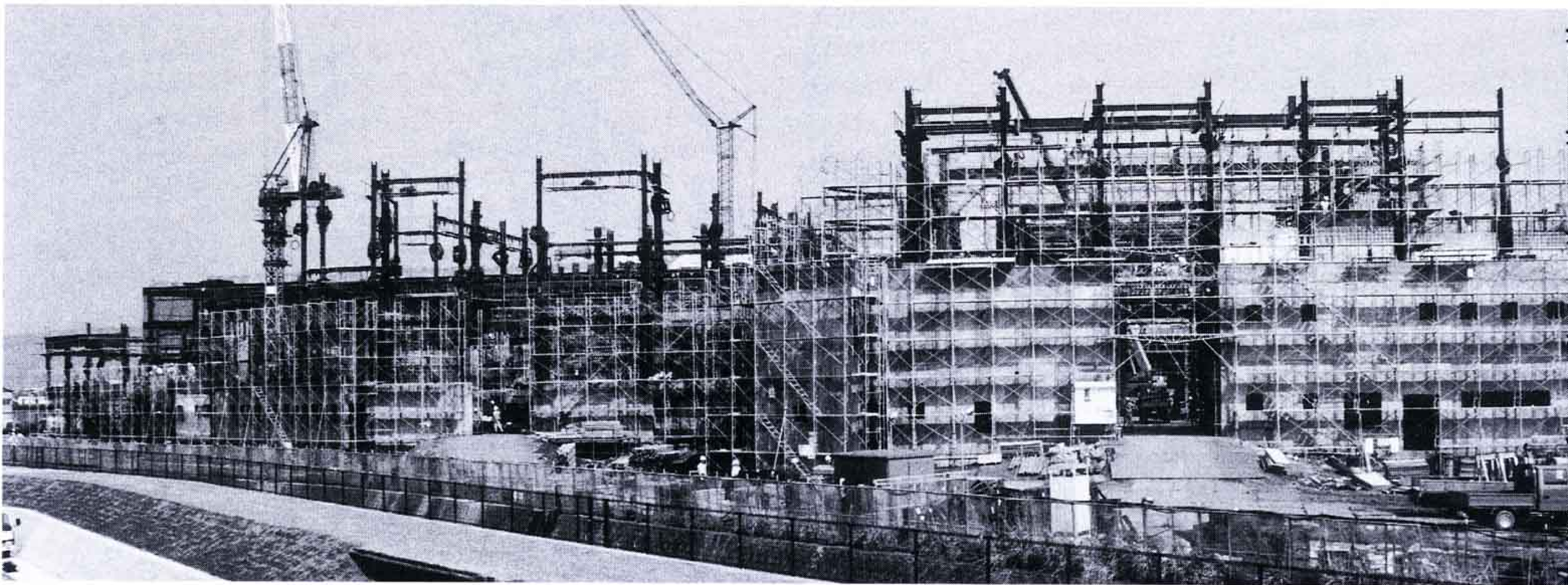
△中ホール 700席



△小ホール 326席



△文化会館完成予想図



△建設中の文化会館、現在約4割できました

<b>財団法人の役員の方々</b>										
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
鈴木清見	羽田虎雄	大内一夫	矢部良雄	山本厚	佐野文一郎	利光三津夫	川口清俊	斉藤安代	河野勝義	上田明男
富士市長	富士市議会議長	元文化会館開設準備室長	富士市助役	富士市教育長	日本芸術文化振興会理事長	常葉学園富士短期大学学長	富士商工会議所会頭	静岡けんみんテレビ副社長	富士市文化連盟会長	俳人
監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
本木健司	八木堅	増山みゆき	斉藤和可子	国際ソロプチミスト	富士市収入役	税理士				

平成五年十一月のオープンを目指して、建設が進む文化会館。大・中・小ホールを中心に、市民の文化活動の輪を広げ、育てる拠点となります。市民の皆さんが、聴きに行きたい見に行きたい、そして会館のステージに立ってみたい。そんなふうな思いってもらえる会館にしなければなりません。

そこで重要なのは、会館の運営管理の方法。市は四月一日、会館を運営管理するための組織として、「財団法人富士市文化振興財団」をつくりました。

運営管理の基本的な考え方は

- 一、すぐれた芸術鑑賞機会の提供
- 二、市民の自主文化活動の積極的推進
- 三、個性豊かな市民文化の創造・支援・発信
- 四、市民の文化活動ニーズへの柔軟な対応
- 五、市民に開かれた会館運営の五本柱です。

また今後は、コンクールなどによる芸術家の発掘や支援、市民参加のオペラづくりなど、地域独自の文化づくりを進めます。そして友好都市の中国の嘉興市、アメリカのオーシャンサイド市との文化交流など、活動の輪を海外にも広げていきます。

### 開館前の多彩な行事もお楽しみに



開館まであと一年と七ヶ月。その間もプレイイベントとして、多彩な行事を予定しています。

〔平成四年度〕

◇ 新人と子供たちのコンサート

◎ 六月六日(土)

音楽大学をことし卒業した新人と、富士市少年少女合唱団、リトルマリンバンド、ミュージズフルートアンサンブルジュニア、との合同コンサートを、文化センターで行います。

◇ ふじ少年少女芸術劇場

パートI ミュージカル公演

◎ 八月一日(土)

文化センターで子供向けミュージカル「サウンドオブミュージック」を上演します。

パートII 学校コンサート

◎ 十月から十一月

東京パークセッション・シンフォネットと上野の森混声合唱団を招き、中学校八校の体育館で演奏会を開きます。

◇ まちかどコンサート

新富士駅を会場に、コンサートを二回行います。

◎ 十月二十四日(土)

パンフルートとシンセサイザーコンサート

◇ 映画音楽と名曲の夕べ

◎ 十一月一日(日)

開館一年前の催しとして東京室内管弦楽団を招き、コンサートを開きます。演奏曲目は、六月六日の「新人と子供たちのコンサート」入場者からリクエストしてもらい決定します。

◇ ふじ初春コンサート

◎ 平成五年一月ごろ(日・会場は未定)

邦楽系音楽家により、新春にふさわしい演奏会を開きます。

〔平成五年度〕

開館後は、国内外のすぐれたクラシック・バレエや、演劇の公演などを予定しています。

また、まちかどコンサート、学校コンサート、ふじ初春コンサートなどを継続して行います。

「さあ、いよいよ活動が始まります。お楽しみに」

愛称募集 親しまれる施設になるよう五・六月に募集します。

問い合わせ 文化会館開設準備室 内線二八二二

